

伝統舞踊や馬頭琴演奏

弥彦中は木やりとたる太鼓

弥彦村と友好都市協定を結んでいるモンゴル・エルデネ村の友好親善訪問団は十八日午後、弥彦中学校を訪問。交流集会では弥彦中の生徒が木やりや吹奏楽、エルデネ村の子どもたちがモンゴルの伝統舞踊や民族楽器、馬頭琴の演奏などを披露し合っ

3日目は弥彦中で交流集会

モンゴル・エルデネ村訪問団 競輪場見学、一緒に給食



ホームステイ先の生徒と顔合わせする子どもたち

エルデネ村の訪問団は、エルデネ村義務教育学校、ムンフサイハン村長とエのソーシャルワーカーとルデネ村広報担当職員、生徒六人の総勢九人。

一行は十六日から二十一日までの五日六日で弥彦村を訪問。三日目の十八日は午前中、弥彦保育園を訪問し、弥彦競輪場を見学。弥彦小学校で給食を食べながら交流したあと、一時十五分、弥彦中を訪問した。

訪問団の子どもたちは二十日、弥彦中学生の家でホームステイする予定で、まずは校長室で受け入れ先の生徒と顔合わせ。訪問団の子どもたちのうち二人は昨年、弥彦村の訪問団が訪ねた際に、中学生と交流している。ホームステイの受け入れ先には昨年、エルデネ村を訪問した生徒二人も入っており、互いに手を振って再会を喜んだ。

作を展示。低い垣と背の高いスタンド型の花器の二台を使い、高低差を生み出すことで作品に強い立体感を生み出し、全体には裂いたタケを曲げて巻き付けるように飾って二つの作品の一体感と流れを生み出しており、そのなかに

「今回は私たちがおもてなしする番です。皆さんが弥彦で過ごす期間が充実したものとなるように私たちも精いっぱい歓迎したいと思えます」と歓迎のあいさつを行った。



校内を回って授業の様子を見学

「(二)は全部良かったが、体育館が広いのはうらやましかった。みんな元気よく、にこにこしながらあいさつしてくれて安心した」と話した。

壁面の書の大作といけばなのコラボレーション作品



出品者や関係者が顔をそろえた18日の開場式



モンゴルの伝統舞踊を披露するノミル・エルデネさん

